認知症施策推進計画策定に係るアンケート調査
結果報告書

令和8年3月
坂戸市

目　次

Ⅰ　調査の概要 1

1 調査の目的 3
2 調査の対象及び方法等 3
3 報告書の表記及び注意点について 3

Ⅱ　調査結果 5

1. 本人用 7
(1)認知症に関して知りたいこと 7
(2)日常生活を送るうえで大変なこと 7
(3)重点を置くべき認知症施策 8
(4)今後の生活でやりたいことや、楽しみにしていること 9
(5)市に伝えたいこと 10
2. 家族用 11
(1)認知症に関して知りたいこと 11
(2)本人との関わりで気をつけていること 12
(3)支えや励みとなっていること 13
(4)重点を置くべき認知症施策 14
(5)今後、本人とやりたいこと 15
(6)市に伝えたいこと 16

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的

令和6年1月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法が施行されました。国、地方公共団体等の責務が明確化されると共に、認知症施策の推進に関する計画の策定、認知症施策を総合的かつ計画的に推進することが求められています。

このような背景を踏まえ、本市の高齢者福祉に係る総合的な計画と位置付けられている「坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（第10期）」と一体のものとして、令和9年度より「坂戸市市認知症施策推進計画」を策定することとしました。策定に向け、認知症の人と家族の思いを聴き、認知症の人が地域で暮らしていく上での課題等を把握するために実施しました。

2　調査の対象及び方法等

調査対象：認知症の人（本人）29人／認知症の人の家族32人
調査方法：個別聞き取り／アンケート用紙回収
調査場所：市役所、地域包括支援センター、認知症ケア相談室
調査期間：令和7年10月から令和8年2月まで

3　報告書の表記及び注意点について

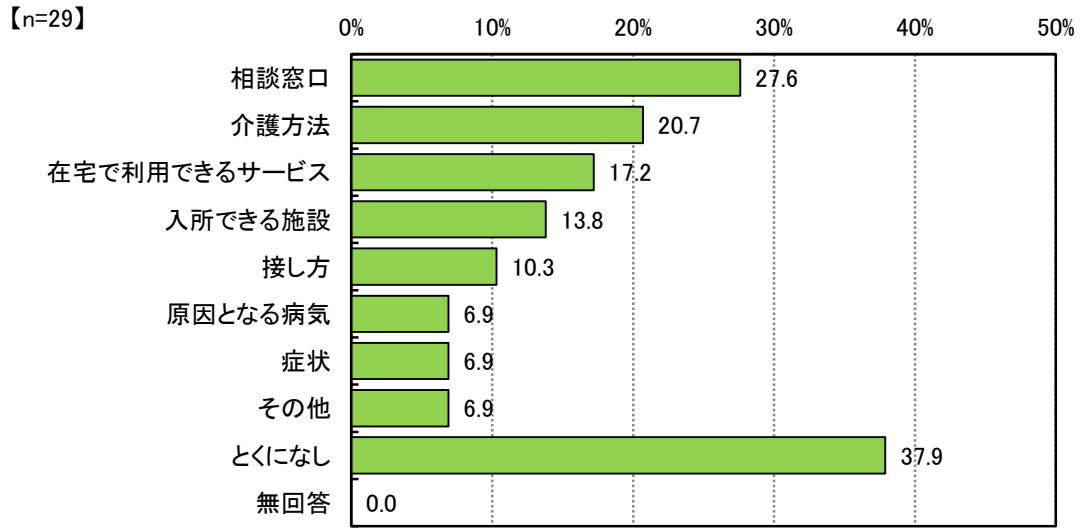
1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているので、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。

Ⅱ　調査結果

1. 本人用

(1)認知症に関して知りたいこと

(1)認知症に関してどのようなことを知りたいですか。(複数選択可)



認知症に関して知りたいことは、「相談窓口」が27.6％で最も多く、以下、「介護方法」が20.7％、「在宅で利用できるサービス」が17.2％、「入所できる施設」が13.8％、「接し方」が10.3％などとなっています。

なお、37.9％は「とくになし」と回答しています。

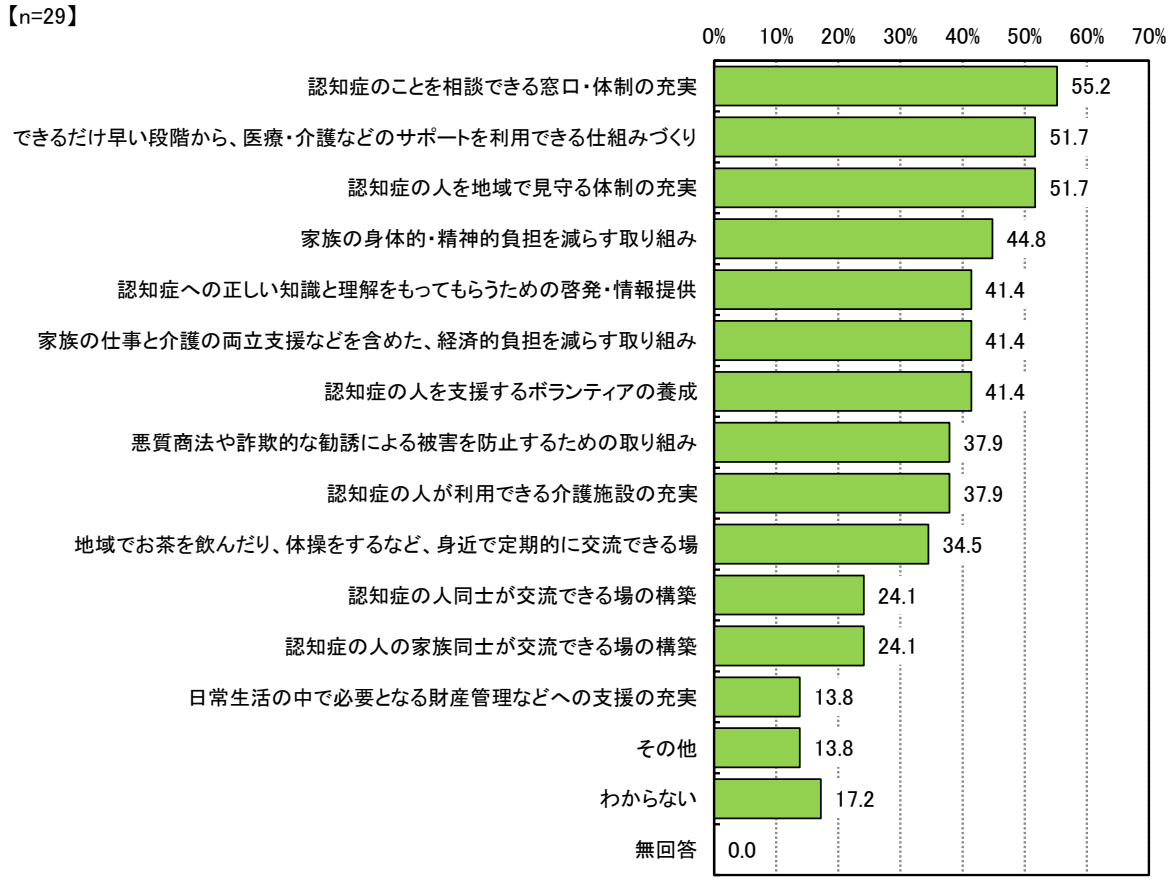
(2)日常生活を送るうえで大変なこと

(2)日常生活を送るうえで大変なことはありますか。あれば記入してください。

○家族等身近でサポートしてくれる人がおらず、買い物、食事、掃除、病気等全て一人で抱えないといけないため大変。お皿や鍵等、どこに置いたかわからなくなる。
○杖持っているから大丈夫。
○困っていることはない、身体で悪いところはない。(姉によると)ゴミ出し
○昔は反骨精神があったが、年もとり日々生活をしていくしかないと思っている。日常生活はなんとかやっています。
○外出の時、物忘れのため不安。
○身内が遠いのが不安、一人だから淋しい。何かをする意欲が出ない。スーパーに行っても何を買っていいか忘れちゃうしわからなくなる。動きも遅くなった。
○何かあると心配(あれやったか、これやったか等) ex.市とか、ガス・電気からの請求書とかを大事にしまってしまい、結局払い込みや返送を忘れてしまう。
○息子がよくしてくれます。
○食材の購入が大変。
○忘れてしまう事が多くなり、支払ったかどうかがわからなくなる。
○転んだりしたり、ちょっとしたことが心配。
○病気になった時、病院に行くのが大変。
○ない、最高です、言うことない。の人気ですから。
○ありません。おかげ様でよくしてもらっています。
○施設入居者と話すと、施設に入居した理由がわからない人が多い。家族が本人に話していない事が多いように感じる。(例:だまされて連れて来られた等) 入居する時、理由・入居のルール等の話し合いの時に本人を同席させたらいかがでしょうか？介護する職員の方々が苦労しています。
○体力が必要。

(3)重点を置くべき認知症施策

(3)認知症施策を進めるうえで、どのような施策に重点を置くべきだと思いますか。
（複数選択可）



認知症施策を進めるうえで、重点をおくべきだと思う施策は、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が55.2%で最も多く、以下、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」、「認知症の人を地域で見守る体制の充実」がともに51.7%、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が44.8%などとなっています。

（4）今後の生活でやりたいことや、楽しみにしていること

（4）今後の生活でやりたいことや、楽しみにしていることはありますか。
あれば記入してください。

〇ウォーキング、ラジオ体操、英会話等やっているが、楽しみというより現状維持するため。楽しみは特になし。
〇生活で精一杯。 料理は夫に任せている、たまにする。 スーパーに買い物に行っている。以前おれんじカフェのボランティアをしていた。
〇脳トレ、ピアノ（20代のころから続けている。以前は先生に習ったり、公民館で習っていた。現在は自分で楽譜を見て8時40分から10時まで弾いている。） 以前飯能市の公民館に勤めていて良い思い出が思い出せるから、公民館が好き。公民館は集まれるところで行ったらいいことがある。以前は書道、コーラス、お茶をやっていた。
〇娘や孫と遊んだり、買い物に行くこと。
〇本当はパラグライダーを再開したいが、身体的に無理。あたたかくなったらロードバイクをしようと思っている。体力や気力を維持していきたい。
〇船の旅行。
〇いろんな人とかかわりたいという思いがある。ヘルパーさんに買い物を頼んでいるが、自分も一緒に行って買い物したい。
〇裁縫、いきいきさんに通い続ける。
〇ウォーキング（山をみたり、景色をみながら音楽をきいて、たまに歌いながら）
〇自宅の荷物の整理。
〇おいしいものを食べに行きたい。
〇子供たちに会うのが楽しみ。
〇身体を動かしたい。
〇内緒です。
〇ないなぁ、美味しいものは食べたい。家族で食べたい。
〇ここに来て最高です。家にいるよりいい。
〇別にない。空気と場所が楽しみ。皆さん、人が良いのでいつまでもここに居たい。けれどお家が恋しい。
〇ぬり絵、花の寄せ植えをするのが楽しい。
〇皆さんといろいろお話できる事がとても楽しいです。
〇施設のまわり（内・外）に散歩コースを作ってほしい。 たまにはスーパー等に買い物に行きたい。外食もしてみたい。介護職員の働きやすい環境を考えていただきたいです。人員不足の解消が必要です。
〇歩く。
〇まずは、今の生活が続けられること。旅行、ショッピング、観劇などに行けること。

（5）市に伝えたいこと

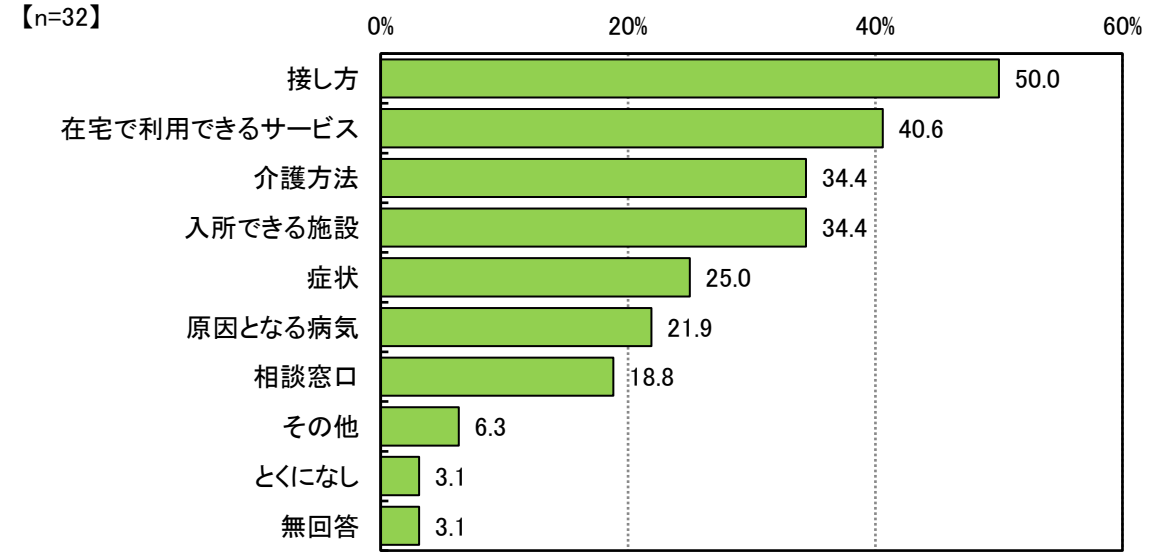
（5）市の認知症対策に対する考え等、市に伝えたいことがあれば記入してください。

〇事前にお金を渡しておけば死後のことは市で行う、というような孤独死対策を考えてほしい。
〇うちにいるから分からない。
〇頻繁に公民館で事業の募集があってほしい。 事業が終わっても次の事業をしてほしい。 脳トレを続けてほしい。
〇バスを増やしてほしい。
〇交流の場に行きたいけど、その場所まで一人で歩いて行けないと思う。（道に迷ってしまう） 認知症で覚えることが難しいので、交流の場に行ける手段を考えてほしい。
〇ウォーキングのコースがなかなか良いです。土手で富士山をみながら楽しんで歩いています。
〇地域の移送サービスを増やしてほしい。
〇もっと年寄りを大事にしてほしい。
〇福祉がどれだけ充実しているか知りたい。安心して飲みに行ける場所がほしい。
〇心の中にあるけれど、何て言ったらわからない。宜しくお願いします。
〇特に何もないねぇ。ここにいるだけで十分よ、施設にいるだけで。
〇ありがたいと思っています。
〇費用を気軽に利用させて頂くようにできたらとてもありがたいです。
〇入院時に受けたリハビリ等を継続できるような（体調に合わせて）体制があると、一日が充実して過ごせる。自分の体の状態も理解できる。

2. 家族用

(1)認知症に関して知りたいこと

(1)認知症に関してどのようなことを知りたいですか。(複数選択可)



認知症に関して知りたいことは、「接し方」が50.0%で最も多く、以下、「在宅で利用できるサービス」が40.6%、「介護方法」、「入所できる施設」がともに34.4%、「症状」が25.0%などとなっています。

なお、3.1%は「とくになし」と回答しています。

（2）本人との関わりで気をつけていること

（2）ご本人との関わりの中で、日頃から気をつけていることはありますか。

〇本人を否定しない。同じことを何十回聞かれてもきちんと返答する。本人を認める。
〇短期記憶が低下し、怒りっぽくなっているため、自分の気持ちを落ち着かせながら淡々と物事を伝える。本人と距離を置く。本人が忘れないよう、いろいろな事項をメモに残してもらう。
〇同じ話を繰り返す時に、初めて聞いた様な反応で対応し、本人が物忘れを感じないような対応をしている。「さっき言ったじゃん」などの言葉は使わないように心がけている。
〇ゴミ出しなど、なるべく自分で出来ることは自力でやってもらう。
〇同じ事を何度も言われて疲れる。怒らないように心掛けているけど、忙しいとつい不機嫌な対応をしてしまう。
〇毎日、公園に出掛けている。歩行自立なので、転倒には注意している。
〇優しく接するようにはしている。暗くならないようにしている。本人ができる家事はお願いしている。
〇本人のペースに合わせること。
〇当初は診断を受けることができなかったので、毎日一緒にいる者にしか気づくことのない小さな変化を見逃さないようにする。 本人のその時々の気持ち、気分に正確に気づくために、まず相手の話をよく聞き否定しない。
〇沢山の事を一度に言わないようにしています、穏やかに話す。
〇明るく、高いテンションで接する。ネガティブな事ばかり言うので話を明るい話題にする。
〇すべて確認しながら行動するようにしている。
〇なるべく話をするように心がけている。怒らないように声をかけている。
〇穏やかに接するようにしている。
〇普通に話すのでは伝わらないので、本人が怒ったりイライラしないように考えてから話をしています。
〇正常な者として対応する。
〇施設さんでの面会時の様子、短い時間の中での会話を通して気づくことなど。
〇同じ話を何回しても、初めて聞いたかのように聞く。なるべく否定しないようにしています。
〇忘れる事が多いので、火の始末や外出先の往復が気掛かりです。
〇二人家族なので気が抜けず、見守りというより監視している日々。ケガしないように注意している。 夜中のトイレも転ばないかと心配でした。 ダメだよとやってはいけないと言うと反対にやってしまう。
〇話をしっかり聞いてあげる。
〇何度同じ話を聞いても良く聞く耳を持つ（持ちたい）。 昨日とは違う変化に気づくこと（前回会った時と違う）。 手を握ったり、体に触れてマッサージ。
〇本人と接する時は、あせらず根気よくする。
〇接し方（認知症と思って対応した）。
〇グループホームに入居している為、たまにしか会えませんが、優しく明るくふるまうようにしています。
〇繰り返し同じ事を言われても怒らないように気を付けています。
〇耳が聞こえにくいので、大きめの声で何かする都度話しかける。
〇否定しない。
〇本人の気持ちを理解する。
〇変わらない生活リズム。
〇少しでも困り事を減らせるような取り組み（電話で予定の確認等）。

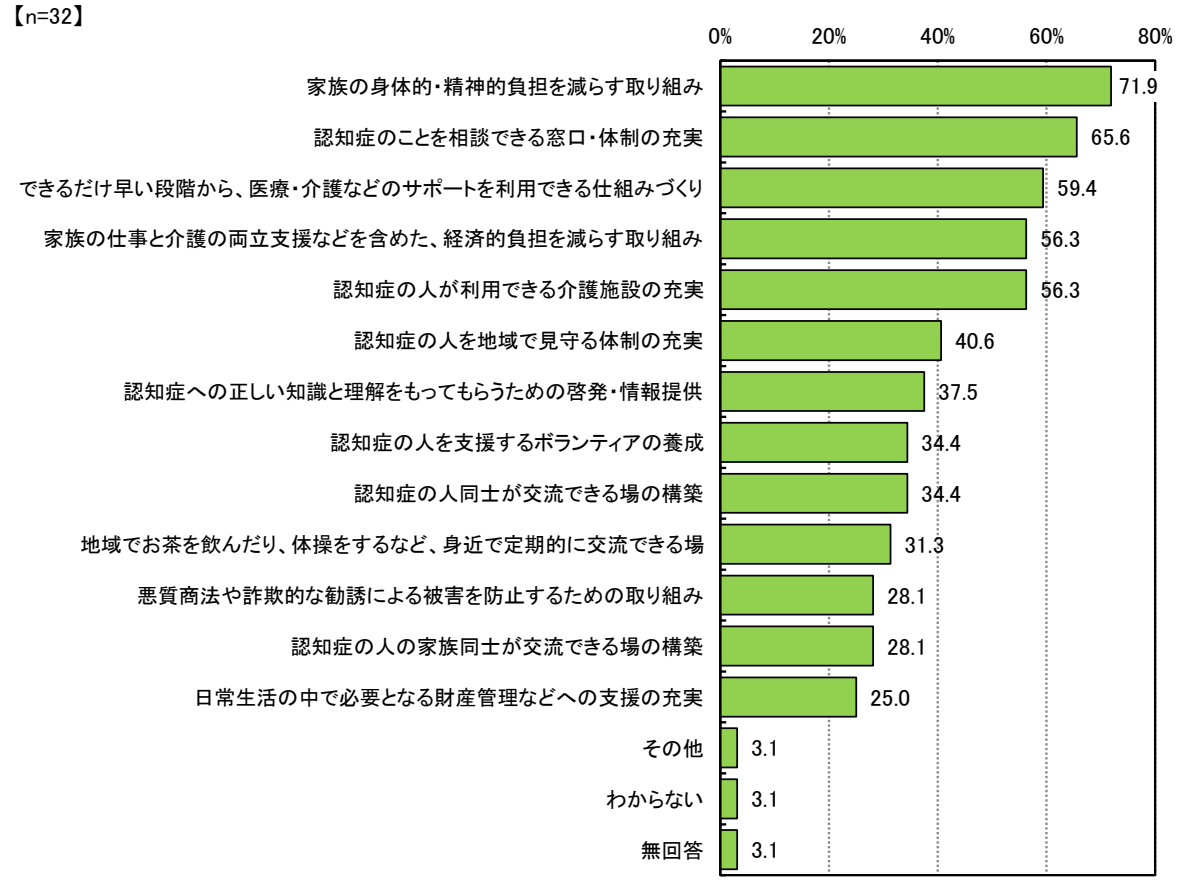
(3)支えや励みとなっていること

(3)あなたの支えや励みになっていることはどのようなことですか。

〇笑うことが大事だと感じ、落語や笑いヨガ等勉強した。
〇自分の兄妹や自分の子供たちが近くにいること。本人に刺激を与えるためにいろいろな人と接してほしいと考えているが、自分の友人が家に来た際、本人と接してもらえること。
〇自分ひとりで抱えこまないで誰かに話をする。知り合い、相談所(包括、ケアマネ)に話すことで気持ちが楽になる。安心して愚痴をこぼせると気持ちが楽になる。
〇別居の子供たちと家族ラインで繋がっているため、何かあればすぐに相談することが出来る。気持ち的に楽になる。
〇同居の子供達に愚痴を言って気持ちを整理している。 外で仕事をしている時は、本人の事が頭から離れて切り替えられる。 本人がデイサービスに通い、不在のひととき。
〇母を介して公園に来ている人(老人や清掃員など)と知り合えたこと。 母の介護や一緒に時間を過ごすことが励みになっている。
〇あまり気落ちしない。相談できるところがある(包括)。
〇自分の仕事や趣味を続けること。
〇手助けしてくれる家族のこと、認知症本人のこと、これまで気がつかなかったことでの気づきがあり、励みになることもある。
〇叔父は昔から優しい人なので、本人と一緒にいて苦を感じる事は今のところありませんので、このままの生活を維持していけたら良いなと思うばかりです。
〇実の親なので今までの感謝。
〇友人たちとの情報交換。ケアマネジャーさんに相談したい。
〇一日を振り返って今日の本人の様子を家族で共有したり、やり取りを振り返ることで、家族で共有していることで支えになっていると感じている。
〇専門家が話を聞いてくれるので助かる。
〇母の笑顔。
〇同じ認知症の親を介護している友人に話すこと。
〇長生きしてもらいたい。安心して暮らしてもらいたい。
〇最近、グループホームに入所できて安心しています。きめ細かく対応してくださってありがたいです。
〇笑顔で過ごしている様子が見れた時。
〇本人が元気でいてくれるという事。入所施設のスタッフの気づかい。愚痴を聞いてもらうこと。
〇気持ちよく、おだやかに過ごしてくれる事。
〇一人で抱えこまずに家族みんなで協力できている事。
〇施設の職員がよく面倒を見てくださっているため、安心していられます。
〇施設の職員様の存在が心の支えになっています。
〇母のがんばり。
〇意思の疎通ができた時。
〇施設に入所させていただき、ありがたいと思っています。
〇ケアマネさんのサポート、介護制度。
〇周りの人たちの親切(支援センターの皆さまや近所の方々)。

(4)重点を置くべき認知症施策

(4)認知症施策を進めるうえで、どのような施策に重点を置くべきだと思いますか。
（複数選択可）



認知症施策を進めるうえで、重点をおくべきだと思う施策は、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が71.9%で最も多く、以下、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」が65.6%、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」が59.4%、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み」、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」がともに56.3%などとなっています。

（5）今後、本人とやりたいこと

（5）今後、ご本人とやりたいことはありますか。あれば記入してください。

〇やりたいことはやれたので特になし。
〇本人にたくさんの人とコミュニケーションをとってもらえるよう、自宅に来るお客さん（アンケート回答者は自宅で自営業をしている）と主に繋げたい。
〇認知症の人は昔の事はよく覚えていると思う。昔の思い出話をしたり、昔遊びを楽しみたいと思う。
〇年々、依存が強くなってきている。本人と一緒にやりたい事というよりか、自立して欲しい。
〇公園のお出掛けやカラオケ、母が楽しく過ごせる時間をつくりたい。
〇まだ、そこまで見えていません。そのためにも少しでも早く診断がつく方法（本人が同行を拒んでいる場合）が知りたかったです。病院での診断が受けられたのは（2）で得られた家族ならではのカンのようなものが偶然うまく働いたためです。
〇なかなか遠くて足を運べませんが、一緒に食事を作って食べてと普通の事が出来たらと思います。旅行に一緒に行きたい。
〇旅行に連れて行きたいです。
〇これ以上状態が悪くならないよう、今の生活を維持できたらよいと思っている。
〇できるだけ自宅で一緒に生活したい。
〇旅行、実家に泊まる。
〇体操の仕方など。
〇お花見。
〇30分程度の草取り、庭仕事、散歩。
〇おだやかに日々を過ごしていきたい。
〇安心して会える。
〇このままの生活が送れたらいい。
〇出かけることが好きなので楽しみを見つけてその願いをかなえたい。本を読むのも好きなので、それを続けられるようにしたいです。

（6）市に伝えたいこと

（6）市の認知症対策に対する考え等、市に伝えたいことがあれば記入してください。

〇情報を届けたい人に届かないため、市にパイプ役を担ってほしい。 介護をしている人の負担が軽くなるような事業をやってほしい。
〇サービス利用拒否をする本人等、家から出ない人へのアプローチ。 買い物に行く感覚で気軽に行けるような介護体験を聞ける場があると良い。
〇介護の悩み事などを気軽に話が出来る場所が欲しい。介護者サロンなどが充実すると良い。
〇家族をサポートするサービスを進めて欲しいと思う。同居の家族も含めた家事支援サービスがあると、仕事介護家事の負担が軽くなるため助かります。
〇母と叔母、二人の介護を同時にしていて大変だったが、包括と繋がって色々な事が良い方向へ動き出しほっとしている。友人に紹介されて包括を知ったが、気軽に相談できる所だと、もっと早く知りたかった。
〇患者本人のその時の状況に合わせた相談窓口につないでいただける部署が市役所にあると有難いです。
〇ADLは可能な事がまだ多いが、QOLは確実に低下を辿っている一人暮らしの方は多いと思います。調査員の方が来る時は「できます」と本人は言いますが、実際は不可能で昔はできていた事をできると伝えてしまう方は、多々いるのではないかと思うので、認定調査に来る際は、もっとケアマネさんの声や家族の意見を取り入れるようにして頂けますと幸いです。日々の制度、周囲のケアマネさんや看護師の尽力には深く感謝しておりますが、認知症の方々がより一層過ごしやすくなる事を心から願っております。
〇近くの廃校などを利用して、老人が集まる場などを作ってほしいです。
〇オンデマンドのバスや車の助成があると助かる。是非、坂戸市で高齢者向けに考えてほしい。
〇対応施設を増やしてほしい。
〇介護支援専門員、介護士の養成、スタッフの方々の給与の補助金、介護施設閉鎖など無くなるような補助、支援。
〇入所できる施設を増やして、家族の負担を減らしてほしい。
〇グループホームの拡充。
〇介護職の人達がいなくなると困るので安定した生活を保障してほしい。
〇手続きをスムーズにできるように。 補助制度の充実。
〇よくわかってはいないですが、現状いろんな制度も利用できることはありがたいです。

認知症施策推進計画策定に係るアンケート調査
結果報告書

発　　行 ： 令和8年3月
編　　集 ： 坂戸市